



記者発表日

令和7年10月7日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ
広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

今年度も中国地方建設技術開発交流会を 中国地方5県で開催します。

最先端の建設に関する技術を扱う民間の技術者『産』、大学や高専の先生『学』、行政担当者『官』が、新技術・新工法、i-Construction や防災対策等についての発表を通じて、一般の方を含む多くの方が建設技術の情報を共有し、活用促進を図ることを目的とした「中国地方建設技術開発交流会」を開催します。

- 日 時：別紙参照
 - 場 所：各会場（別紙参照）とインターネット配信の併用開催
 - 開催内容：プログラムは、別紙参照
 - 主 催：中国地方建設技術開発交流会 実行委員会※
 - 備 考：・会場での参加、またはCPD及びCPDS付与のご希望の方は『事前参加申請』をお願いします。
詳細は下記、中国技術事務所ホームページをご確認ください。
(<https://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/sangaku/meeting.html>)
・交流会のネット配信は、Microsoft の「Teams」を活用して行います。
オンライン参加でCPD及びCPDS付与を希望しない方については、中国技術事務所ホームページ(<https://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/sangaku/meeting.html>)に当日掲載する各会場のURLをクリックすることで、ご聴講いただけます。
・取材をご希望の場合は、事前に下記、問合せ先にご連絡いただけると幸いです。
- ※「中国地方建設技術開発交流会 実行委員会」は、中国地方の5県・政令2市、国土交通省中国地方整備局、公益法人等の団体で構成されています。

問 合 せ 先

国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所



総括技術情報管理官

かしはら よしひこ
柏原 良彦

建設監督官

えびす たかゆき
胡 隆之 【担当】

住 所：広島県広島市安芸区船越南2丁目8番1号

電 話：082-822-2340（代表）

URL：<https://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/index.html>

中国地方建設技術開発交流会

2025 参加費無料

CPD/CPDS付与

対面・オンライン併用開催！

※取得には条件がございます。

災害に強く、住みよい豊かな社会の創造を目指して

～災害リスクの低減及び働き方改革・生産性向上への取組～

中国インフラDXセンターの整備
(人材の育成)



BIM/CIM活用業務・工事の拡充
(生産性向上)



安全・安心な暮らしの実現
(インフラDXが目指す姿)



今年度の中国地方建設技術開発交流会は、対面・オンラインの併用開催で行います。

参加にあたっては、対面・オンライン参加ともに事前参加申請をお願いします。

※なお、オンライン参加でCPD及びCPDS付与を希望しない方については、事前参加申請は不要です。

オンライン配信は、Microsoft「Teams」を活用して行います。

オンライン参加の方は、各会場の「参加URL」が必要となります。 ※下記 交流会への参加方法を参照

※交流会の講演内容については、後日、中国技術事務所ホームページに掲載いたしますので、オンライン配信を見逃した方は、ホームページよりご覧ください。

広島県

日時：10月22日(水) 13時00分～16時45分

会場：中国地方整備局 中国技術事務所(3階 講堂)

申込締切日：10月17日(金) 16時 定員：会場 30人 Web300人

岡山県

日時：10月31日(金) 13時00分～16時45分

会場：中国地方整備局 岡山国道事務所(第1～第3会議室)

申込締切日：10月28日(火) 16時 定員：会場 30人 Web300人

島根県

日時：11月 5日(水) 13時00分～16時45分

会場：中国地方整備局 松江国道事務所(3階 大会議室)

申込締切日：10月30日(木) 16時 定員：会場 30人 Web300人

鳥取県

日時：11月12日(水) 13時00分～17時00分

会場：中国地方整備局 鳥取河川国道事務所(1階 会議室)

申込締切日：11月 7日(金) 16時 定員：会場 30人 Web300人

山口県

日時：11月19日(水) 13時00分～16時45分

会場：中国地方整備局 山口河川国道事務所(第1会議室)

申込締切日：11月14日(金) 16時 定員：会場 30人 Web300人

CPD及びCPDS付与 認定取得団体

～対面参加～

当日、交流会終了後に受講証明書を発行いたします

～オンライン参加～

(一社) 全国土木施工管理技士会連合会

※CPDS希望の方は、参加状況を確認したのち、主催者側で上記団体へ申請いたします

(一社) 建設コンサルタンツ協会

(一社) 全国測量設計業協会連合会

(公社) 日本建築士会連合会

(一社) 全日本建設技術協会

※CPD希望の方は、交流会後に実施するアンケート調査にご回答いただいたのち、主催者より受講証明書を発行しますので、ご自身で上記団体へ申請をお願いいたします

交流会への参加方法

- ①中国技術事務所ホームページ (<https://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/sangaku/meeting.html>) にアクセスします。「事前参加申請」をクリック後に表示される「中国地方建設技術開発交流会 2025 事前登録について」(PDFファイル)の中に事前参加登録ホームページのURLが記載されていますので、PDFファイルの内容をご確認、ご了承の上、URLをコピーしてアクセスしてください。
- ②受付後、後日、オンライン参加の方には会議URL等が登録いただいたメールアドレスへ配信されます。
※会場への入場開始は1時間前より、オンラインの接続は30分前より可能です。なお、途中からでも入場・接続は可能ですが、CPD/CPDS付与にあたっては条件がございます。
- ③対面参加の方は、公共交通機関をご利用いただきますようお願い申し上げます。

主催：中国地方建設技術開発交流会 実行委員会

構成団体：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、岡山市、広島市、国土交通省中国地方整備局、

(公財)鳥取県建設技術センター、(公財)島根県建設技術センター、(公財)岡山県建設技術センター、(一財)山口県建設技術センター、中国土木工管理技士会連合会、建設業協会中国ブロック協議会、(一社)中国建設弘済会、(一社)日本建設業連合会、(一社)日本道路建設業協会、(一社)日本橋梁建設協会、(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一財)日本建設情報総合センター、(一社)日本建設機械施工協会、中国コンクリート製品協会、(一社)日本鉄鋼連盟、(一社)全国特定法面保護協会、(一社)日本造園建設業協会、(一社)全国道路標識・標示業協会、(一社)建設電気技術協会、(一社)日本埋立浚渫協会

事務局：国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所

共催：(公社)土木学会中国支部、(公社)地盤工学会中国支部、(公社)日本技術士会中国本部、(一社)全国測量設計業協会中国地区協議会

後援：(公社)日本コンクリート工学会中国支部

中国地方建設技術開発交流会

2025

開催方式：対面※1・オンライン※2併用開催

(※1 中国技術事務所・岡山国道事務所・松江国道事務所・鳥取河川国道事務所・山口河川国道事務所)

(※2 Microsoft Teamsにより配信)

広島県 10月22日(水) 13時00分～16時45分	
基調講演	沿岸環境のドレミファ 広島大学大学院 先進理工系科学研究科 准教授 日比野 忠史
学技術発表	現地観測に基づく歩行者-自転車-自動車の交錯状況の解明に関する技術開発 広島大学大学院 先進理工系科学研究科 准教授 塚井 誠人
開発支援	耐水モーターポンプによる災害リスクの低減 【日本建設機械施工協会】 (株)西島製作所 池田 楠生
民間技術発表	デジタルツインプラットフォームによる施工管理効率化の取り組み 【日本建設業連合会】 (株)安藤・間 技術研究所 フロンティア研究部 澤城 光二郎・早川 健太郎
民間技術発表	広島駅南口再整備工事におけるDX推進の取り組み 【日本建設業連合会】 (株)大林組広島支店 広電広島駅JV工事事務所 中垣 真一
民間技術発表	削孔機マシンガイダンスシステムおよび削孔計測システム 【日本建設業連合会】 日特建設(株) 広島支店 寺山 崇
R6NETIS登録の新技术	水位AIを活用した効率的な水位状況判定 (株)中電工、(株)日立ソリューションズ・クリエイト、ハイテクインター(株) 西米 武
R6NETIS登録の新技术	バットレス型補強アンカー工法 文化財石垣・石積擁壁補強技術協会、国土館大学、岡部(株) 橋本 隆雄

島根県 11月5日(水) 13時00分～16時45分	
基調講演	管路更生工法による老朽管路の長寿命化 島根大学 学術研究院 環境システム科学系 教授 石井 将幸
学技術発表	松江市における防災と住みよさに関する意識調査 松江工業高等専門学校 環境・建設工学科 教授 浅田 純作
開発支援	掘削工事中の斜面変動を作業者が目視確認できる安全管理装置及びその装置による安全管理運用体制に関する開発 (株)藤井基礎設計事務所 岩佐 直人
民間技術発表	水中において長距離の空洞充填が可能な『パフェグラウト工法』 【日本建設業連合会】 日特建設(株) 広島支店 金舛 能史
民間技術発表	浜田港の既設護岸における可塑性グラウト増深工法の適用 【日本埋立浚渫協会】 五洋建設(株) 中国支店 水島工事事務所 鶴田 裕一郎
民間技術発表	新しい流域治水対策による減災サービス 【中国コンクリート製品協会】 日本興業(株) 事業本部 市場開拓部 吉田 真一郎
R6NETIS登録の新技术	量水標(Heat式) (株)トランスコア 齋藤 健一
R6NETIS登録の新技术	塩害対策型ハイビーウォール 大日本土木(株)、ハイビーウォール研究会 三村 明恵

山口県 11月19日(水) 13時00分～16時45分	
基調講演	山口大学におけるインフラメンテナンス人材育成 山口大学大学院 創成科学研究科 教授 麻生 稔彦
学技術発表	異常や劣化の定量的評価に向けた橋梁変位モニタリング 山口大学大学院 創成科学研究科 准教授 渡邊 学歩
開発支援	海岸・河川沿い道路の空洞及び陥没の発生・発達過程に関する研究 山口大学大学院 創成科学研究科 准教授 森 啓年
民間技術発表	道路改良工事におけるICT-StageIIとi-Construction2.0の新技術活用事例 【日本建設業連合会】 (株)フジタ 土木エンジニアリングセンター 機械部 三鬼 尚臣
民間技術発表	橋樑の固有周期を活用した健全度評価と打撃振動試験(非破壊検査)による橋樑の使用性判断の一事例 【日本埋立浚渫協会】 みらい建設工業(株) 技術本部技術部 山本 隆信
民間技術発表	管理型海面処分場におけるCO2による中和固定技術 【日本埋立浚渫協会】 東洋建設(株) 土木事業本部土木技術部 山崎 智弘
R6NETIS登録の新技术	堤防基礎ドレーン一体工法「ベースドレーン」 (株)総合開発、アスザック(株)、共和ハーモテック(株) 藤木 孝則
R6NETIS登録の新技术	スマートスタビライザモニタリングシステム ニチレキ(株) 井上 智章

岡山県 10月31日(金) 13時00分～16時45分	
基調講演	“DXによる働き方改革”こそが建設分野が生き残れるキーワード 岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域 教授 西山 哲
学技術発表	ハイドロヴィーナス技術による治水・利水・海洋のDX・GX 岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域 教授 比江島 慎二 (株)ハイドロヴィーナス 上田 剛慈
開発支援	任意の温度・材齢のセメント改良土の強度推定が可能な室内配合試験法の開発 山口大学大学院 創成科学研究科 准教授 原 弘行
民間技術発表	盛土地盤に適した地山補強土工法(EGNアンカー工法) 【全国特定法面保護協会】 日特建設(株) 広島支店 寺山 崇
民間技術発表	玉島笠岡道路浜中地区東工区改良工事におけるICT施工StageIIの取り組み 【日本建設業連合会】 大成建設(株) 伊東 稔明
民間技術発表	港湾分野におけるAI活用技術の紹介 東亜建設工業(株) 技術研究開発センター 地盤・防災技術グループ (株)日本埋立浚渫協会 夏坂 亮太
R6NETIS登録の新技术	アトラクティブを用いた、特定外来生物(陸生植物)オオキンケイギク、オオハングソウ、アレチウリ、ナルトサワギクの防除工法 丸和バイオケミカル(株) 柴垣 宏樹
R6NETIS登録の新技术	AI見通し監視システム「AI見通し検知くん」 アーキット 合同会社、新谷建設(株) 三浦 友直

鳥取県 11月12日(水) 13時00分～17時00分	
基調講演	鳥取県におけるインフラメンテナンスへの新技術導入の取り組み 鳥取大学工学部社会システム土木系学科 教授 黒田 保
官技術発表	鳥取型建設生産体制「とっとり建設DX」について 鳥取県県土整備部技術企画課 課長補佐 前田 康宏
官技術発表	令和5年台風第7号災害の採択事例と復旧状況 鳥取県県土整備部技術企画課 係長 雁津 佳英
民間技術発表	長距離圧送で高品質・高強度を可能にした吹付技術『HiSP(ハイエスビー)工法』 【全国特定法面保護協会】 日特建設(株) 広島支店 寺山 崇
民間技術発表	塩分吸着型エポキシ樹脂コンクリート補修材「ハイブリッドエポキシ樹脂」の特性と適用事例 【日本建設業連合会】 日本国土開発(株) 新規事業・地域共創事業推進室 プロジェクト推進部 山内 匡
民間技術発表	バイオマス燃焼灰を活用した低環境負荷型藻場基盤材 【日本埋立浚渫協会】 若築建設(株) 技術研究所 水野 健太
R6NETIS登録の新技术	インクライン併設型浮橋構 (株)テカアノーツ、独立行政法人水資源機構 山本 信剛
開発支援	あらゆる岩種にも対応可能な汎用型オン・サイト点載荷試験機の開発と岩塊の強度評価手法の提案 鳥取大学 学術研究院 工学系部門 教授 河野 勝宣

交流会への参加

オンライン併用なので どこでも参加できます!

※会場への入場開始は1時間前より、オンラインの接続は30分前より可能です。

※対面参加の方は、公共交通機関をご利用いただきますようお願い申し上げます。

※やむを得ず開催内容に変更が発生する場合は御了承ください。

※途中からの参加や途中退席ではCPD/CPDS単位の取得はできない場合がございますので、予め御了承ください。